

第 37 回岩手県食の安全安心委員会議事録

1 開催日時及び場所

令和 8 年 1 月 29 日（木）14 時 00 分から 16 時 00 分

岩手県立県民生活センター 2 階 大ホール

2 出席者の氏名

(1) 委員

佐々木里美委員、中村靖子委員、菊地セツ子委員、山口真樹委員、吉田敏恵委員、吉田良平委員、田野秀司委員、小野寺真由美委員、佐藤圭委員、信田陽一委員、近谷裕司委員、梁川真一委員、菊池拓朗委員、佐藤至委員、藤原正俊委員、笹田怜子委員、平澤和樹委員

(2) 関係室課等

高橋昌平復興危機管理室主任、櫻井直之防災課主査、志和池雄大学事振興課主事、昆野恵子環境保全課主任主査、川又康明資源循環推進課主任主査、浅沼公紀若者女性協働推進室主任主査、栃内圭子健康国保課医務主幹、近藤誠一健康国保課主任主査、坂下藤子健康国保課主任、田澤英寿農林水産企画室主任、小野寺真希子流通課主任主査、渡邊紀之流通課主任、阿部敦農業普及技術課主任主査、内田愛美農業普及技術課上席農業普及員、昆野雄介畜産課主任主査、粒來幸次教育委員会事務局保健体育課主幹兼保健体育担当課長、菅原史子教育委員会事務局保健体育課指導主事、熊谷啓之教育委員会事務局生涯学習文化財課社会教育主事、千葉和久環境保健研究センター首席専門研究員兼衛生科学部長

(3) 事務局

中里裕美環境生活部長、木村真智県民くらしの安全課総括課長、阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長、晴山久美子主査、山口真右主査、間澤大地主任、金野壱星主事、齋藤楓主事

3 議事の概要

(1) 開会

(2) あいさつ

中里裕美環境生活部長があいさつを述べた。

(3) 委員紹介

事務局より委員の紹介を行った。

(4) 議事

ア 委員長及び副委員長の選任について

佐藤至委員が委員長に、笹田怜子委員が副委員長に選任された。

イ 第 4 次岩手県食の安全安心推進計画（最終案）について

阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長から資料 1～資料 1-2 により説明があった。

【質問・意見等】

特段意見等なし。

- **佐藤至委員長** それでは、「第4次岩手県食の安全安心推進計画（最終案）」の内容について、岩手県食の安全安心委員会として承認するということがよろしいでしょうか。

（委員異議なし）

ウ 第5次岩手県食育推進計画（答申案）について

阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長から資料2～資料2-3により説明があった。

【質問・意見等】

- **吉田敏恵委員** 資料2-2の「第5次岩手県食育推進計画（答申案）概要」の右側、ローマ数字のⅢ「食料供給県としての特性を活かした食育の推進」、これについては意見というよりも感想と自分の課題意識と一緒だなというところで、とてもいいのではないかと、ここの項目部分を強化してくれたことが、私は評価できるなと思っています。

どんな問題意識を持ってるかということ、やはり消費者としても、本当に今離農が増えていて、私どもが生産者とネットワークを組んだりしていますけれども、家族経営をしているような小さな農業者などは、もう後継ぎないし、後継ぎがいても農業に魅力を感じないからやめるみたいな形で、どんどん離農が増えていて、国が示す離農割合よりも、もっと周りの人たちはやめていってるんだ、本当に私たちの食料はここ5年ぐらいで食べられるようになるんだろうかというぐらい緊迫していることをおっしゃって、私たち消費者もそのような危機感を持っています。なので、農山漁村が維持されないと、いくら大型の農業者がそこに入って物を作ったとしても、人がいなくなってしまうのはどうにもならないし、地域も維持されないので、ここにある問題意識のような、やはり農山漁村が維持されるとか、それから、環境に配慮した食料生産が推進されて、持続的に農業の取組が進められるようなことが重要だねっていう、やはり安全なものを食べたいし、いいものをちゃんと食べていきたいという前に、生産地を守らねばといったところが、やはりすごく危機感を持っていますので、その部分に出してくださったことがいいなというのが評価の意見です。

一方で、これを達成するための指標というところで、先ほどご説明してくださったんですけど、果たしてこれで大丈夫かなというのはあります。ちょっと足りないような気がして、具体的にどの部分が足りないという意見をいえるほどのことではないのですが、ちょっと指標の部分では大丈夫かなという不安はあります。

- **佐藤至委員長** ありがとうございます。これについて何か事務局からありますでしょうか。

○ **木村真智県民くらしの安全課総括課長** 貴重なご意見ありがとうございます。指標の関係で
ございます。我々の方もですね、この参考指標以外の主要指標については、数多く指標項目を
設定すべきだというのが課題としておりまして、まずは、複数の中項目の中で1つという
ところで目標設定をさせていただいたところでございます。例えば、指標としてこの中項目を代
表する指標かどうかということも、策定部会の中でご意見をいただいたところですが、適当
と思われるようなデータがそもそもとっていなかったということもあり苦心したところが
ございまして、あるデータの中で、この中項目の指標としてふさわしいものをまずは1つ設定
させていただいたところでございます。

今後も引き続き、様々な取組をしながらデータとなる数値的な部分もしっかり把握しながら
ですね、次期の計画等で設定できるように取り組んでまいりたいと考えております。

○ **佐藤至委員長** ありがとうございます。その他委員の皆様から何かご意見等ございませ
んでしょうか。

○ **佐藤至委員長** それでは、本日ご審議いただきました答申案については、原案の通り知事に
対して答申を行うことにご異議ございませんでしょうか。

(委員異議なし)

○ **佐藤至委員長** ありがとうございます。それでは原案のとおり知事に答申することとしま
す。

エ 食の安全安心の確保に係る令和7年度の取組状況と令和8年度の取組方向について

① 岩手県食の安全安心推進計画

阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長から、資料3により説明があった。

【質問・意見等】

○ **平澤和樹委員** ご説明ありがとうございます。資料3の5ページ目「No.18 食品表示ウォ
ッチャーの委嘱」のところで、報告件数100件に対して、不適切表示が8件というのは、結構割
合としては多いなという印象がありまして、内容についてもアレルギー表示方法の誤りとかっ
ているのは、結構重大なリスクなのかなというふうに思っているんですけども、調査、指導
して改善したということなんですが、発生している理由ですね、この8件がなぜ発生している
のかという理由については把握されていて、再度発生することがないように指導をされている
という認識でよろしいでしょうか。

○ **阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長** そうですね、そもそもこの100件の報告が
疑わしい事例というのが主なものでして、その中で内容を確認した結果、違反ではなかったと

いうところですので、発生件数として多いというふうには考えておりません。原因等については、委員がおっしゃったように、それぞれの案件について把握した上で、各保健所と連携し、調査、指導を行い改善確認しているところがございます。

- **佐藤至委員長** ちなみにこの報告件数8件のうち、アレルギー表示の誤りというのは1件のみでしょうか。
- **山口真右県民くらしの安全課主査** 県民くらしの安全課の山口でございます。記載されているアレルギーの表示誤りについては、1点ではなく、具体的な件数については回答しかねるところがございますが、複数の件数あったと認識しております。
- **佐藤至委員長** わかりました、ありがとうございます。その他、委員の皆様から何かご意見等ございませんでしょうか。それでは、一部の取組ではやや遅れているというところもありましたけども、概ね全ての取組が順調に推移しているということで、令和7年度の取組状況については、予定どおり実施されているということによろしいでしょうか。

(委員異議なし)

② 岩手県食育推進計画

阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長から、資料4により説明があった。

【質問・意見等】

- **吉田敏恵委員** 資料4の7ページ目「No.23 わかりやすい教材の作成・普及」の取組と、先程ご説明いただきました「No.68 岩手県食育推進ネットワーク会議と関係機関との連携の仕組みの構築」の取組について、大学生の食生活に関連した内容でちょっと意見というか要望なのですが、私どもも会員生協の中には大学生協というのがあって、岩手大学、岩手県立大学、盛岡大学など、やっぱり学生さんも親元を離れますので、食生活の乱れであったり、朝食を食べなかったりですとか、できるだけ少しでもよりよい食生活になるような啓発活動というのは、生協側も一生懸命取り組んでいるわけです。その中で、ベジメータ、これを活用してきっかけづくりをして、食生活について関心を持ってもらうというのがとても好評なんですね。以前にこの会議の中でもベジメータの件については話題になっていて、その時私はそこまで関心がなかったのですが、実は大学生が意外とこれに関心が出て、それをきっかけに食べることに對して関心を持ったり、健康に関心を持ったりということがあるので、このベジメータをもっと活用させたいなと思ったんです。そこで大学生協でも使いたいと思っているのですが、意外とこれ3年間でたしか30万円でのレンタル料という形で、安易には使えないなというのがありました。この資料では3年間での事業終了ということで、継続はすると書いてあるんですけど、要望としては、もっとこれが気軽に使えるようにしていただけたら、使わせていただいて、学生さん

の健康に係る啓発などに使わせていただきたいという要望なんです、この後の見通しというかこのチェックメーター、今いろいろなデータが出ていて、血液サラサラがわかるとか、ほんのちょっとしたことで、どんどん技術が開発されていて、簡易な機械ですぐわかるというのが、やっぱり関心をすぐに高めることに繋がるということですのでごくいいことになってるとは思うんですけど、金額的に高いというのがあるので、その辺りを県の方で貸していただくみたいなことがあるのかどうかお聞きしたいです。

- **坂下藤子健康国保課主任** 先程の食育推進計画のところにも繋がってきますが、食生活改善に関する出前講座等の実施回数を参考指標に掲げさせていただいています。保健所の方では、ベジメータを活用した事業を出前講座として実施しております。県としましては、見える化も大事ですが、そのあと行動に繋がるようなアドバイスも併せて行っていきたいと考えています。保健所での事業は継続していきたいと考えておりますので、管轄をしている保健所の方に前出講座というような形でご相談いただきたいと思います。よろしくお願いします。
- **吉田敏恵委員** あくまで出前講座とセットということで、機器だけの貸し出しはできないということでしょうか。
- **坂下藤子健康国保課主任** そうですね、やはり県の事業の一貫として貸し出しを行いますので、機器だけの貸し出しというところは難しいところでございます。
- **吉田敏恵委員** それでは、要望としてはお貸しいただければすごくいいなと思います。
- **佐藤至委員長** ぜひ、前向きにご検討いただければと思います。その他、委員の皆様から何かご意見等ございませんでしょうか。
- **菊池拓朗委員** 資料4の23ページ目「No.74 子ども食堂等への支援」については、概ね順調となっておりますが、記載されている取組状況だけみると何が順調なのか分からないんですけど、もう少し具体的に教えていただければと思います。
- **阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長** 申し訳ございません、担当課でございます子ども子育て支援室が本日欠席でございますので、詳細につきましては後程回答させていただきます。

(保健福祉部子ども子育て支援室：回答)

平成 30 年度の実施市町村数は 16 となっておりますが、「こども居場所ネットワークいわて」を通じた支援等により毎年度増え、令和 6 年度は 30 となっております。

実施市町村数は増加しているところではありますが、引き続き、全市町村への拡充を図っていく必要があることから「概ね順調」としているところです。

- **佐藤至委員長** それでは後程ご回答をお願いします。その他、委員の皆様から何かご意見等ございませんでしょうか。
- **山口真樹委員** 資料 4 の 19 ページを「No.62 食育推進県民大会の開催」の令和 8 年度の方向性の部分に記載されているイオンモール盛岡での開催は令和 8 年度の誤りかと思いますので、修正をお願いします。
- **阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長** 御指摘のとおりです、申し訳ございません。
- **佐藤至委員長** 後程修正をお願いします。その他、何かご意見等ございませんでしょうか。それでは、先程の食の安全安心推進計画と同様、一部の取組ではやや遅れているというところもありましたけども、概ね全ての取組が順調に推移しているということで、令和 7 年度の取組状況については、予定どおり実施されているということによろしいでしょうか。

(委員異議なし)

オ 令和 8 年度岩手県食品衛生監視指導計画（素案）について

阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長から、資料 5～資料 5-1 により説明があった。

【質問・意見等】

- **笹田怜子副委員長** 確認なんですけれども、資料 5 の課題 1 に記載されている県内食中毒発生状況につきまして、事件数が令和 8 年度は 11 件とありますけれども、すでに出ている数字なのか、あるいは数字が間違っているのでしょうか。
- **山口真右県民くらしの安全課主査** 県民くらしの安全課の山口でございます。大変申し訳ございません、令和 7 年の事件数が 11 件という意味でございますので、記載誤りでございます。前の数字がずれていく形になりますので、令和 6 年が 9 件、令和 5 年が 4 件になります。後程修正をさせていただきます。

○ 佐藤至委員長 よろしくお願ひします。その他、何かご意見等ございませんでしょうか。
パブリックコメントも行うということですので、今後何かお気づきの点がありましたら、そちらの方にお願ひしたいと思ひます。

カ その他
特段意見等なし。

(5) 答申

佐藤至委員長から岩手県知事あての答申書が中里裕美環境生活部長に提出され、次期岩手県食育推進計画の基本的方向について答申が行われた。

(6) 閉会